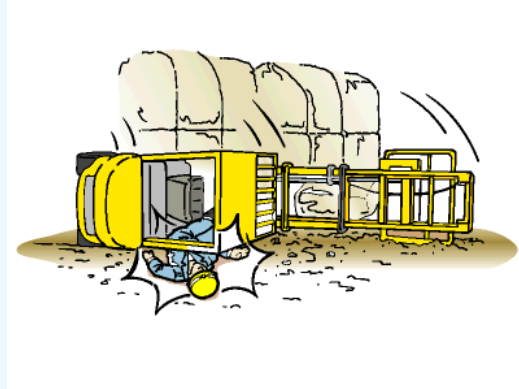


石灰焼成炉工場でフォークリフトにより運搬作業中にフォークリフトが横転



業種	その他の土石製品製造業	
事業場規模	16～29人	
機械設備・有害物質の種類(起因物)	フォークリフト	
災害の種類(事故の型)	転倒	
被害者数	死亡者数：1人 不休者数：0人	休業者数：0人 行方不明者数：0人
発生要因(物)	通路が確保されていない	
発生要因(人)	無意識行動	
発生要因(管理)	機械装置を不安定な状態にして放置する	

No.1033

発生状況

この災害は、石灰製造工場の石灰焼成炉作業場において、石灰石焼成後の二次製品である生石灰等をフレキシブルコンテナに入れ、フォークリフトで運搬中にフォークリフトが転倒し、運転者がフォークリフトのヘッドガードの柱と床面との間に体をはさまれ死亡したものである。

災害発生当日、被災者は、「生石灰戻し」の作業を行った。

午後10時30分頃、被災者は、石灰焼成炉の下で、フレキシブルコンテナをフォークリフトでつり上げていたが、そこへ他の作業者が来たので、「フレキシブルコンテナを運搬中に穴が開いたので第5倉庫の付近に降ろして置いた」と話した。

その取扱いを話し合った結果、被災者は、石灰焼成炉下のフレキシブルコンテナの交換作業をし、他の作業者が穴の開いたフレキシブルコンテナを片づけることになった。

他の作業者が、第5倉庫横の穴の開いたフレキシブルコンテナの片づけを行っていたところ、「ガタン」という音が聞こえたので、その方向を見ると被災者が運転していたフォークリフトが、約100メートル離れた所で横転していた。

被災者はフォークリフトのヘッドカバーと床面との間にはさまれ、直ちに病院に運ばれたが、45分後、内臓破裂(心臓・肺臓)のため死亡した。

原因

この災害は、石灰製造工場において、石灰石焼成後の生石灰等をフレキシブルコンテナに入れ、フォークリフトで運搬中にフォークリフトが転倒したものであるが、その原因としては、次のようなことが考えられる。

直接的な原因としては、被災者がフレキシブルコンテナを片側のフォークだけでつり、フォークリフトの重心が偏り安定度が悪い状態で走行したこと等が考えられる。

また、夜間作業であるにもかかわらず路面の状態を確認できるだけの十分な照明がなされていなかったことも要因の一つと考えられる。

間接的な原因としては、フレキシブルコンテナを運搬するために使用するフォークリフトの指定、専用アタッチメントの使用の指示等が行われていたにもかかわらず作業者に徹底されていなかったこと等があげられる。

対策

この災害は、石灰製造工場において、生石灰等をフレキシブルコンテナに入れ、フォークリフトで運搬中にフォークリフトが転倒したものであるが、同種災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要である。

(1) 安全衛生管理体制の整備等

フォークリフトでの運搬作業は、作業者の判断に任せてしまうことが多いが、会社としての体制の整備を行い、組織的な安全衛生管理を推進していくこと。

また、安全衛生スタッフ等が、定期的に作業現場を巡回し改善指導を行うこと。

(2) 安全作業マニュアル等の整備と徹底

安全な作業に関するマニュアルを整備し、作業者に徹底すること。

(3) 安全衛生教育の徹底

イ 有資格者に対する再教育

ロ 作業指揮者に対する教育


ハ 危険予知活動等の実施

(4) 機械設備の安全化等

イ フレキシブルコンテナ専用フォークリフトの使用

ロ 走行中のフォーク操作の禁止

ハ 運行経路の整備等

 このページを印刷する

アンケートにご協力ください >